

平成29年

目黒区教育委員会

第19回定例会会議録

(平成29年5月23日開催)

第19回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成29年5月23日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	中山 ひとみ
	教育委員会委員	木村 肇
	教育委員会委員	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	後藤 幸子

出席職員	教育次長	野口 晃
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	増田 武
	学校運営課長	村上 隆章
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	馬場 和昭
	八雲中央図書館長	石松 千明

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

- | | | |
|------|------|-------------------------------|
| 日程第1 | 協議事項 | 目黒区情報公開・個人情報保護審議会への諮問
について |
| 日程第2 | 協議事項 | 目黒区文化財保護審議会委員の委嘱について |
| 日程第3 | 報告事項 | 教育委員会事務局各課の主要課題について |
| 日程第4 | 報告事項 | 平成28年度目黒区立学校卒業生の進路状況に
ついて |
| 日程第5 | 報告事項 | 目黒区公立学校長職務代理者の指定について |
| 日程第6 | 報告事項 | 学校記念誌の切り取り被害について |
| 日程第7 | 報告事項 | 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果
について |

(午前9時30分開会)

- 教育長 第19回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は中山委員です。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 目黒区情報公開・個人情報保護審議会への諮問について(協議事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がございますか。
特にないようですのでこの協議を了承します。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 目黒区文化財保護審議会委員の委嘱について(協議事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 教育委員会事務局各課の主要課題について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○委員 教育指導課のところで、今年度の主要課題として、ICT教育の推進ということが挙げられていて、ICT整備計画を含むICT教育推進計画の早期策定というのが、今年度取り組む事業だということの理解でよろしいですね。

学校運営課のほうでも、学校ICT環境整備ということが主要課題として挙げられているので、こういうものについては教育指導課と学校運営課とは、どのような協働体制となるのでしょうか。

- 説明員 現在、ICT整備計画を策定するために、推進計画検討委員会を立ち上げさせていただいていますが、そこに学校運営課長、係長も入っていただく中で、学校関係者も含めて、方向性を決めて、実際にそれを今度整備するということなのです。実際の計画に落と

し込んでいただくのは学校運営課にお願いするということでございます。

○委員 学校統合推進課の主要課題についてのところで、計画どおりに進んでいないということを明記されていますが、この計画どおりに進んでいないということが、保護者や地域への周知徹底の中にどう反映されているかというのがわかりづらいです。

保護者は当然のことながら、中学校が統合されれば、自分たちの子どもがどこの学校に行くのかというのに興味があるはずですが、周知徹底を図る上で計画どおりに進んでいないということであるならば、それはある程度、保護者にも知らしめる必要があるのではないかと思います。

○説明員 計画どおりに進んでいないことにつきましては、「学校統合推進課だより」を毎月発行しまして、保護者の方、地域の方々へお伝えしているところです。

また、先日開かれまた教育施策説明会の場におきましても、同じように説明をさせていただいております。ただ、説明会の席でも質疑がございましたが、改めて進捗のおくれについては、さらに周知の仕方を考えていかななくてはいけないと考えてございますので、今後とも工夫してまいりたいと存じます。

○委員 学校運営課のことで、主要課題の1に対する今後の方向というところで、隣接学校希望入学制度検証委員会がまとめた報告書を踏まえということで、具体的にはどう検討されるのかということをお伺いしたいと思います。

○説明員 本件につきましては、昨年度中に取り組みました検証委員会の報告、そちらで学識経験者等からいただいた意見を踏まえまして、改めて現在の学校の状況を踏まえた上で、隣接学校希望入学制度のあり方そのものを考えていくということを計画しているところです。

○委員 その具体的な方向性というのは、いつごろ出ると考えられるでしょうか。

○説明員 現在、その報告書の内容を踏まえてまとめてございますので、予定では、来週以降の教育委員会でご説明をしようと考えています。

○委員 続きまして、学校施設計画課に伺いたいのですが、トイレの洋式化で、非常にいいと思っていたのですが、最近、和式トイレの効用が見直されてきてまして、成長期には、むしろ和式便所が効用

があるということです。そうなると、全部を洋式にするのはどうかと思うのですが、その点いかがですか。

○説明員 ただいまのご質疑でございますが、まだ公共施設には和便器がございます。そういった中で、各階、男女1つずつ実は和便器が入っております、基本的に全学校のパーセンテージでいけば、100%にはなってございません。今現在、大鳥中学校以外は、まだまだ和便器が残っております。わざと残している学校もございます。

学校、校長先生や私どものほうも、全て直すのかどうかということでございますが、校舎につきましては、どうしても洋便器の数、例えば5分休みとか、休み時間に一斉に入るということで、校舎側は洋便器はつけてございますが、体育館側等で和便器が残っているところもございます。

引き続き全体を通しまして、洋式化は始まったばかりでございますので、そういったご意見も踏まえながら、学校長とも相談しながら進めていきたいと考えております。

○委員 次に八雲中央図書館について2点お伺いしたいのですが、図書館をどんどん利用する機運というか、流れに持っていくことが目黒の文化度をさらに高める大事な要素だと考えております。

その中で、ここに書かれています、3番の今後の方向性で、資料検索機能の充実です。例えば、私どもが伺ったときに、それをアドバイスする、また導いてくれるような、具体的な施策がされているでしょうか。

○説明員 実際、目黒区でも図書館を使っている方、今まで使っていた方は、方法がわかっているのですけれども、新規に、今まで使っていない方等に図書館を利用してもらうための仕組みがいろいろ必要かと考えています。

その中では、実際に目黒区にこういった資料があるとか、いろいろ検索がしやすいか、これらは必要になるかと思っておりますので、この中で、ホームページ等を検討している中で、こちらのデータベースの検索の仕方、例えば今までですと作者を入れる形で検索していたのですけれども、例えば「芥川賞」というキーワードを入れると作品名が出るとか作者が出るような、そういう検索機能もあるような話を聞いていますので、そういうものを活用して、まず一つはより検索をしやすくすることを考えています。

もう一つ、今、こういった本を借りたいとか、いろいろご相談

いただくときに、なかなかご本人様でもキーワードとか、はっきりと書名等がわからないケースがあるかと思えます。そういう意味では、実際に利用者の方が検索ができなかったとしても、こういった検索システムを導入することによって図書館側の職員等が検索して、よりその方が求めているような本をご案内できるようなことも可能になると考えているところです。

○委員 そうすると、現在のところ、まだ幾つかの項目をお願いして、それに合致した文献を入手するというのを、区のスタッフの方をお願いするという事は、現在では無理ということですか。

○説明員 実際、区民の方から電話等でそういったご相談を受けまして、職員等が行っています。

例えば八雲中央図書館では、日中、常時レファレンスカウンターというのを設けてございまして、こちらに職員が2人体制で待機しています。区民の方からいろいろな書籍の問い合わせ、相談等ございすけれども、対応させていただいているところです。

○委員 雑誌にスポンサーを利用して、経費を減らすということだったので、労多くして、実際にスポンサーから得る収入が非常に少なかったということを記憶しております。雑誌のスポンサーを拡大するというお話もありますが、現況はどうでしょうか。

○説明員 今、委員ご指摘いただいたとおり、件数は例年、スポンサー数が10件程度、金額も約10万円程度で前後している状況でございます。ただ、目黒区の書店組合にも協力いただいて、なるべく職員の負荷がないような形で進めているところです。

今後、スポンサーを拡大していくという形になりますと、委員おっしゃったとおり、職員がいろいろなところに出向いて、お願いしたりする形にもなりますので、総合的に考えながら、有効な手段があれば拡大もしたいと考えてございます。

○委員 学校施設計画課にお伺いしますけれども、数校の校長先生から教室数が足りないという話を聞きますが、その件に関して、今回、現在の状況と問題点、今後の方向性を少しお聞かせいただきたいと思えます。

○説明員 教室数の問題は、毎年11月か12月に各学校に全体的に連絡させていただいて、今年度の状況、これからの翌年度の児童数を伺っていた経緯がございます。その中で、年度内に行う改修工事、また、東根小学校のように単年度でできない場合は、夏休み、翌年度の夏休みにさせていただく等、普通教室に戻す工事が本当に

毎年増えています。

また、校舎内に増築できるかといえば、これも難しい中で、どうしても多目的室という形である程度使われている部屋を普通教室に戻している経緯がございます。

ただ、児童数の経緯も見てみますと、ここ一、二年がピークになってくると思われる数になっており、児童数の動向は非常に重要な課題だと思っています。

そういった情報を早めに知りたいところですが、どうしても、昨今の保育事情もあり、なかなか増築できない中で、既存の校舎内でやりくりできるよう、各学校にお願いしている状況です。

○委員 改築や長寿命化対策が、文部科学省からも重要な課題として求められているということであるならば、改築、長寿命化の優先順位についての議論はどのようなのでしょうか。

○説明員 学校数、近年改築した学校以外の数は多うございますので、そういった中で文部科学省として一例として挙げているのは、各学校の棟ごとに、今までの改修の状況をインプットできる表がありますが、そういった改修の経歴、あとは現在の状況で、これまで耐震診断や耐震改修工事を実施した学校につきましては、ある程度調査しているのですが、そういった中のデータを落とし込み、今後個別に調査をかけるものも出てくるかもしれませんが、そういった各学校の棟ごとのデータを落とし込むような表も文部科学省から提示いただいています。そういった中で、ある程度落とし込んで、優先順位が出てくのではないかと私どもも認識してございます。

ただ、かなり膨大な量になっています。現状といたしまして、昨年度末、3月に実施しました有資格者の施設点検のデータも活用できそうなので、そういったものも入れ込みながら、今年度から行っていきたいと考えております。

その結果に基づきまして、区長部局側とまた相談する形になりますが、新しく経営改革推進課がこういった区有施設の検討所管になっておりますので、そちらと協議してまいりたいと考えております。

○委員 この複合化、集約化、多機能化ということが盛られているんですけども、これの具体的な内容を説明していただきたいと思えます。

○説明員 まず、複合化は例えば碑小学校のように、区の施設が学校の中

に入るパターンでございます。多機能化は例えば時間貸しのような形の全体的な部屋の使い方の考え方が示されております。集約化は区の施設を合わせるような考え方です。

文部科学省は、碑小学校を複合化のモデルケースとして、サイトにアップしてございまして、昨年度も調査いただき、モデルケースとしていただいておりますが、東山小学校も複合化という形になっていきますので、これから小学校等につきましては、こういった複合化という形で検討が入ってくるのではないかと考えております。

○教育長

I C T教育の推進と、教育用コンピューターシステムの構築は、これは内容が検討委員会で固まる前に、どういう目的で、どういうことを、どういうふうに検討しているのかということ、途中で報告してもらえますか。これは要望です。

それから、図書館の情報システムの更新も、かなり理解が深まりましたが、28年度に行った図書館のデータベースの入れかえが無駄になったようにも聞こえるので、検討会でまとまる前に報告をしてもらえますか。要望です。

それから、学校運営課の3番目の幼稚園・こども園の要支援児の急増への対応ですけれども、着眼点としては的確だと思いますけれども、他区の取り組み状況について把握していればお伺いしたいのと、把握していなければ、今後、他区がどういう対応されるのか、わかれば教えていただきたいと思っております。

2点目は、校舎等の環境改善で、体育館ですけれども、ここは学校教育で使うのが目的ですけれども、災害時には避難所になるわけです。そうすると、真夏に首都直下型地震が来たときには、大変暑い生活を強いられると思っております。社会教育の関係でいえば、夜間開放をどの学校も行っていると思うのですけれども、そうした中で、冷房化を検討している他区の状況がわかりますか。

○説明員

現在、他区の状況については把握できていない状況です。

昨年、東京都が実施いたしました東京都内の公立幼稚園に関する統計がございまして、全在園児に占める障害のある幼児数は、東京都の平均で8.3%です。ただ、これは市部も入っていますので、23区の状況につきまして、改めて特別区学務課長会等で把握し、何か特別な取り組みがあるようでしたら、状況把握をして、参考にしたいと思っております。

○説明員

体育館の冷房化でございましてけれども、毎年、東京都内の学校

の調査というのがありまして、各学校、体育館の冷房化という項目に、1校、2校の先駆的事例はありますけれども、どの学校も国庫補助が体育館ではまだ使えない状況ですので、非常に悩ましいところです。

本区にいたしましても、武道場があります十一中と目黒中央中は、もともとエアコン等がついてございましたが、それだけでもエアコンの台数がかなり多い状態です。それが体育館になりますとなかなか予算にしても台数にしても、室外機の設置場所というものもございます。そういった中で、東山小のように太陽熱を入れた、なるだけ暖気を逃していくという手法もあるという認識もございますが、各区、その問題については厳しいところがございます。そういった検討が、なかなか進んでいないという状況でございました。

- 教育長 文部科学省も少し動きを見せているので、注視してください。
○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 平成28年度目黒区立学校卒業生の進路状況について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第5を議題とします。

(日程第5 目黒区公立学校長職務代理者の指定について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第6を議題とします。

(日程第6 学校記念誌の切り取り被害について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。
特にないようでしたのでこの報告を受けました。
次に日程第7を議題とします。

(日程第7 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について(報告
事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。
特にないようでしたのでこの報告を受けました。

○教育長 他に何かございますか。

○説明員 目黒本町図書館の天井の一部が落下した事故について、ご報告
させていただきます。

この施設でございますが、社会教育館が3階、2階に図書館と
児童保育クラブ、1階に保育園とシルバー人材センターが入って
いる複合施設です。

5月19日、金曜日でございますが、閉館前の午後6時55分
ごろですが、目黒本町図書館の児童コーナーの天井が長さ45セ
ンチ程度にわたって崩落しました。

そのときの館内の状況ですが、閉館間際ということで、保護者
2人とその子ども2人の、4人が児童コーナーにいました。落下
箇所とは離れていて被害はありませんでしたが、かなり大きな衝
撃音だったということで、お子さんが泣かれたということでした。

その後の対応ですが、その日は閉館間際であったため、すぐ閉
館し、翌日に業者を呼びまして、その状況を確認しました。他の
箇所についても確認したところ、異常はありませんでした。そし
て、問題ないことが確認できたため、翌日の11時にオープンし
た状況です。

現在、天井が落下した、穴ですけれども、厚紙の段ボールで補
修しています。

今後でございますが、施設課と協議し、どういう対応をするか
は調整していきたいと考えています。

当日居合わせたお子さんの保護者からは、翌日連絡がありまし
て、八雲中央図書館長からも状況の説明させていただきました。

○教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前11時1分閉会)